



まちにまったプールびらき(保育所)

《目次》

- 6月定例会…………… 2P
- 7月臨時議会…………… 3P
- 一般質問…………… 4P
- インタビュー(黒川健二さん) …… 10P

赤字(累積約7,200万円) 抜本対策と健康づくり

平成22年第2回定例会は、6月10日から18日まで開催された。予算関係件8件(平成21年度専決6件、平成22年度専決1件、補正1件)、条例関係5件(改正3件・専決2件)が提出され、いずれも原案通り承認・可決した。一般質問には6人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

改正した条例

○国の地方税法等改定により、町税条例を改定

【専決処分】

反対討論

(安本 修 議員)

今回の改定は、子ども手当での財源として16才未満の年少扶養控除の廃止と、高校無償化の財源の16才から18才の特定扶養控除の縮減である。多くの世帯が増税になり、本町でも、保育、高齢者福祉など、他制度の負担も増える。

【承認 賛成9 反対2】

○国保税の限度額を引き上げ

【専決処分】

国保税の限度額を、基礎課税分47万円から50万円に、後期高齢者支援金等課税分12万円から13万円に引き上げ計63万円とするもの。

反対討論

(今西 久美子 議員)

国保税の限度額が、介護分10万円と合わせれば1世帯73万円になり、4万円の値上げとなる。もっと抜本的な保険税のあり方の検討が必要。

【承認 賛成9 反対2】

平成21年度 補正した予算

今回の補正予算は、決算見込みにもなう各種事業の確定などにより計上したもので、補正額は以下の通り。

【専決処分】
(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	△3,147万円	41億5,749万円	承認 全員賛成
特別会計	国保会計	△1,203万円	10億3,689万円 承認 全員賛成
	後期高齢者医療会計	86万円	7,626万円 承認 賛成9、反対2
	介護保険会計	△1,662万円	6億 712万円 承認 賛成9、反対2
	高尾飲供会計	△5万円	5,377万円 承認 全員賛成
	公共下水道会計	△670万円	5億6,150万円 承認 全員賛成



ふれあいサロン

○介護保険特別会計

反対討論

(今西 久美子 議員)

今回、保険給付費で約1600万円の減額となっている。希望しても、施設には入れない。農繁期などはシヨートステイも利用できない実態がある。認定方法の変更で介護度が低くなり、限度額が下がった方もあり、高い保険料だけ支払って、本当に必要なサービスが受けられないことが明らか。

国保会計

3年連続の 求められる

平成22年度 補正した予算

今回の補正予算は、一般会計では、府の子ども未来基金などにより、民家を活用した子育て支援「つどいの広場」事業などを追加。国民健康保健特別会計では、赤字分を今年度予算から繰り上げ充用するため、7240万円を追加。
【専決処分】



元気はつらつ若がえり塾

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	482万円	36億4,982万円	可決 全員賛成
国保特別会計	7,240万円	10億5,651万円	承認 全員賛成

6月定例会・第1回臨時会

第1回

臨時議会

小学校にも空調を整備

宇治田原小に電子黒板を設置

平成22年度 補正した予算

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	1億700万円	37億5,682万円	可決 全員賛成

国の交付金を受け、各小学校に空調設備を年度内に整備する。

平成22年第1回臨時議会は、7月15日に開催され、補正予算1件、その他の案件1件を、原案通り可決した。

財産取得

○電子黒板キットを取得

田原小学校に続き、宇治田原小学校にも電子黒板を整備するため、(株)ウチタソリユーシヨンス京都から890万円で購入する。

【質問】

3月議会で、入札の際、分離発注などで町内業者への配慮を求めたが、今回の対応は。

【答弁】

今回は地元業者にも配慮し、電子黒板キットとデジタルテレビを分けて入札した。

【可決 全員賛成】

「地球温暖化防止」 本町のCO2削減は



垣内秋弘
議員

【答】職員一丸となって対応する

【質問】

地球温暖化防止は、地球規模から各家庭におけるエネルギーやゴミ問題まで避けて通れない深刻な課題である。本町は地球温暖化防止実行計画を策定し、平成19年度から23年度までの5年間にわたり取り組み中であるが、進捗状況と見直し等についての考えは。

【答 弁(建設・環境課長)】

平成16年度を基準値として5年間に5%の削減を目標に取り組んだが、平成19年度は目標マイナス1%に對して0.6%と若干及ばず、平成20年度はマイナス2%に對して、事務室の増設等で電気代が増加したこともあり、プラス22.8%と未達となった。21年度は、

現在集計・分析中。与えられた条件をチェックし、過去3年間の結果を踏まえ現在の状況を的確に把握した中での数値目標となるよう、今年度に見直しを図る。

【答 弁(建設・環境課長)】

電気・ガスに限定せず各設備が需要家のニーズによつて選択できる現状を踏まえ、エコキュートだけを補助対象にすることは問題ありと判断し、引き続き調査研究の対象としていく。新たに効果が大きいエコ

キュートの設置促進を図るため補助金制度の導入を。

【質問】

地上デジタル波へスムーズな移行を

【答】情報提供と広報活動を実施する

【質問】

地上デジタル波への完全切り替えまで1年余りとなったが、スムーズな移行を行なう必要があるが、難

視聴地域をはじめ種々懸念される問題はないか。費用に關しては受益者負担が基本であるが、低所得者や経済弱者といわれる方々に何

【答 弁(企画政策担当課長)】

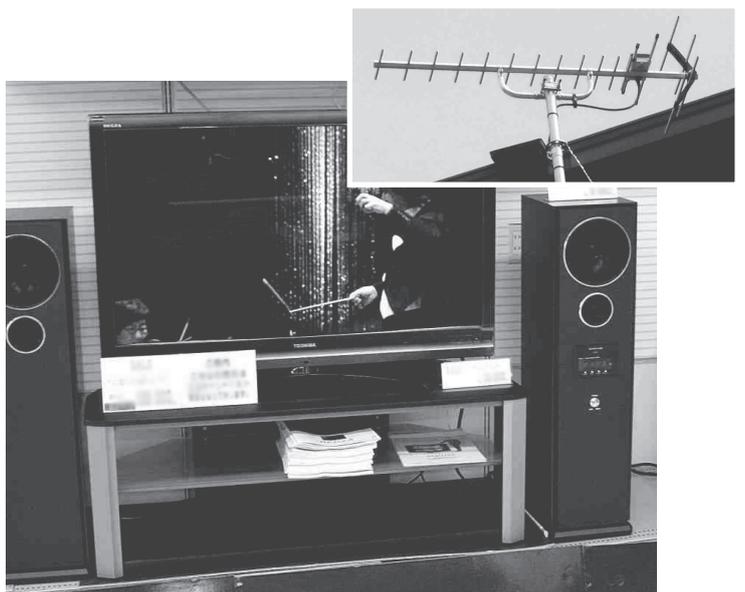
様々な条件整備、支援については国及び放送事業者の責任において、必要となる対策を講じるべきであることが大前提と捉えている。町内の半数が自主共聴施設組合に加入されている。ほぼ改修が完了している。

【答 弁(企画政策担当課長)】

個別家庭では、放送波を送信する中継局がデジタル対応となり受信できる状況に改善されている。低所得者の支援については、国において生活保護世帯や住民税非課税世帯などに対して、簡易な地上デジタルチューナーやアンテナ工事を無料で給付する支援を開始している。



エコキュート



地デジ対応テレビとアンテナ



今西久美子
議員

鳥獣被害対策は十分と 考えているのか

【答】 もっとできることがある



サルに食い荒らされたネギ

部2市5町で約千頭。イノシシは把握できていない。

【質問】

対策は、今のままで十分だと考えているのか。

【答 弁 (産業振興課長)】

もっとできることがあると思っています。

【質問】

実際の被害状況は町がつかんでいるところではない。住民に協力を呼びかけ、被害の実態を具体的にた

むことが必要ではないか。

【答 弁 (産業振興課長)】

鳥獣被害対策協議会や各区と、情報収集の方法や実態調査について協議していきたい。

【質問】

サルが自宅に侵入して食い荒らすなど、人間で言えば、不法侵入、器物破損、窃盗に当たる深刻な状況。今こそ強力な対策が必要ではないか。

町として狩猟免許を持つ

た職員を採用するなど、専門家を育成するとともに、国の基本指針に即した被害防止計画を作成し、予算も確保して、対策の強化を。

【答 弁 (産業振興課長)】

専門家の育成については、今後も猟友会員の力を借り、有害鳥獣の駆除に取

り組んでいくことから、狩猟免許の取得に対し、支援していく。

市町村による被害防止計画の作成による国庫事業について、野猿を中心とした有害鳥獣対策として府とも協議し、制度の内容等について調査研究していく。

【答 弁 (健康長寿課長)】

前立腺がん検診は、国保の人間ドック健診で、50歳

前立腺がん検診の実施を

【答】 人間ドック健診で対応している

【質問】

最近、男性に前立腺がんがふえている。府下26自治体中、20自治体で前立腺がん検診を実施している。宇治田原でも実施を。

またインフルエンザの予防接種について、子育て支援の一環として子どもに対する費用補助を。

【答 弁 (健康長寿課長)】

前立腺がん検診は、国保の人間ドック健診で、50歳

以上を対象に前立腺腫瘍マーカー検査を取り入れるとともに、助成を行っている。

インフルエンザ予防接種は、重症化の防止やまん延防止には効果的ではあるが、予防接種法に規定していないことから、子どもへの接種費用の助成は考えていない。

【答 弁 (健康長寿課長)】

前立腺がん検診は、国保の人間ドック健診で、50歳

以上を対象に前立腺腫瘍マーカー検査を取り入れるとともに、助成を行っている。

インフルエンザ予防接種は、重症化の防止やまん延防止には効果的ではあるが、予防接種法に規定していないことから、子どもへの接種費用の助成は考えていない。

小型積載ポンプ車で 安心安全が保てるのか

【答】 配備計画は固定化しない



田中 修
議員

【質問】

消防団全支部の消防車両を小型動力ポンプ積載車に移行と聞か、どのような車両を配備していくのか。

【答 弁 (総務課長)】

消防団車両等更新計画では、多機能型消防車両を8台、軽四小型ポンプ積載車を2台、小型動力ポンプを10台配備の予定。

【質問】

常備消防の力だけでは、広域大規模の災害等に、十分な対応ができません。消防団の重要性は極めて大きい。多機能型消防車両の放水能力は、小型ポンプのた

【質問】

め、放水、消

現在保有しているポンプ能力から大きく低下する。広域大災害では、京田辺市

【答 弁 (総務課長)】

最近の小型ポンプは性能が向上しており、現在の放水能力を保てるものと考えらる。有事には京田辺市消防本部や井手分署からも出動し消火にあたる。

【答 弁 (町長)】

今回の整備計画は固定化するものではなく、不足が生じればチェック・検証していききたい。

【質問】



サル用電気柵

野猿の一斉捕獲を

【答】 府に要望していく

今、どこの地域でもサル、イノシシ、シカの被害を何とかしてと切実な声である。捕獲檻の設置や、いろんな対策に取り組んでいるが、効果が見えない。むしろ生息数も増えている。農作物への対策は電気柵やフェンス等を正しく設置することにより、ほぼ100%防衛できる。しかし、サルは民家に侵入し餌をあさり、糞や尿をまき散らすなど大変な状況であ

【答 弁 (産業振興課長)】

京都府の管理計画の中では地域個体群の安定的維持となっており、全数捕獲許可については難しいが、個体数調整事業実施に向け京都府に強く要望していく。



森山高広
議員

さらなる民間的な職員研修を

【答】検討を重ねていきたい



民間で使われている教材

職員がこれまで直面していた課題に対応する、タイムリーな研修であつたと考える。なお、民間企業同様の研修を実施しており、講師は民間企業経験者が多く、その手法を取り入れた内容となつている。

【答 弁（総務課長）】

タイムマネジメント研修では、「業務を洗い出し、優先順位を決め、タイムスケジュールを考えることにより無駄な時間が減り、効率よく仕事を進めることが可能になった」という成果があつた。

研修内容については、京都市町村振興協会の共同研修において、新規採用職員から管理職研修まで、基本的な知識から政策形成やマネジメントまで幅広い内容で繋がつている。

【質 問】

良い研修を行っている民間企業に行き、どういったビジョンを持つて研修を組んでいるかや、実際の内容等を知ることが意味があると思うが。

【答 弁（総務課長）】

研修の目的は、将来につながる人材の育成である。その視点で計画的な研修プログラムに取り組む中であるが、今後検討も重ねていきたい。

学力向上の施策は

【答】基礎学力・心の教育の充実をはかる

【質 問】
現在中学校はかなり落ちてきている。これからは学力向上に重点を置くことが必要。教育委員会ではこれからの学力向上をどう考えているのか。
【答 弁（教育長）】
学力向上に向けて、全国学力・学習状況調査等の活用、読書活動の推進、小学校では算数、中学校では数学・英語での習熟度別授業の実施、補充授業や補修の実施等を行っている。今年度からは、「小中学一貫・連携事業」を推進し、さらに基礎学力・心の教育の充実とさまざまな課題の解消を図る予定。

【質 問】
いろいろと研修が行われているが、業務に活かされているか。また、住民の方からの要望でもある民間企業からの要望でもある民間企業はどうか。現在、民間企業的なコーチングやメンタルヘルス研修等があるが、不十分では。現在の研修内容をどう考えているのか。
【答 弁（総務課長）】
クレーム対応向上やタイムマネジメント研修では、

研修について、明らかにわかる成果等があつたのか。現在の研修を個々に見れば、民間的な内容や、すぐに役に立ちやすいものも多くあるが、広い視野でバランスをとり判断する能力や、一連の研修をつなぐような研修が不足では。すぐに役に立たなくても、若い職員が10、20年先に力を発

【質 問】
学力向上に向けて、全国学力・学習状況調査等の活用、読書活動の推進、小学校では算数、中学校では数学・英語での習熟度別授業の実施、補充授業や補修



電子黒板を活用した授業

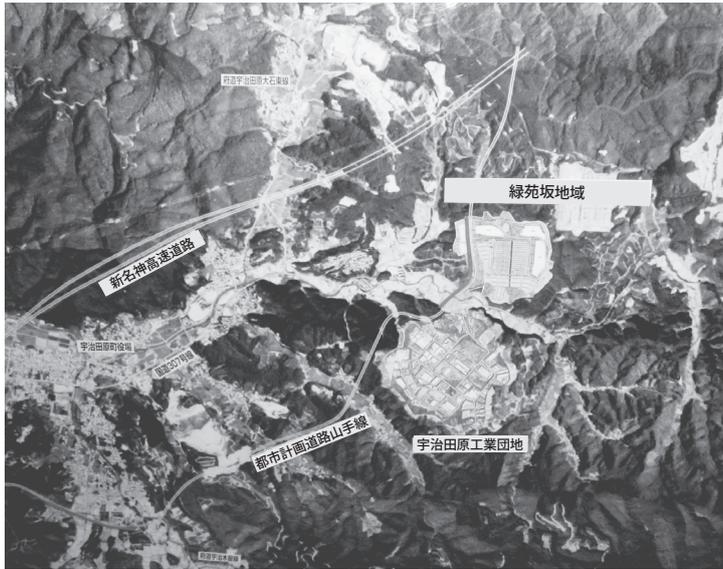
山手線の全面開通は

【答】引き続き努力する

【質問】

本町の幹線道路である国道307号線の朝夕の停滞は解決されず、大きな問題である。アクセス道路が

国道307号線のみでの現状では、事故、工事などが発生すると、機能が完全に停止する状態。都市計画道路山手線の全面開通の見直し



山手線の早期開通を



原田周一
議員

は。南バイパスの供用開始時期は。完成後、山手線全線の計画進捗率と、未開通部分の計画及び完成時期は。

【答 弁（建設・環境課長）】

都市計画道路山手線は、国道307号を通過する車両を既存市街地から迂回を目的として、郷之口池ノ首地内から禅定寺高尾地内までの約7.5キロの区間について、平成3年に都市計画決定。平成5年、緑苑坂地区への進入路を兼ねて約850mが開通。今年度中には府道宇治木屋線のバイパスとして約1,850mが開通予定。現在の進捗率は、11.4%、本年度中には、

バイパス開通後36.1%。今後、賛田・立川地区の約600mの区間の着手を想定。実施時期は、数年先以降。307号の渋滞が顕在化の現状では、山手線の早期整備が必要。実施時期等具体的内容は未定。単独の実施は困難なことから、京都府の協力を得て進めている。

防災面での道路整備は

【質問】

緑苑坂地区への進入路は、307号からの1本のみであり、万が一、何らかの事情で通行不能の場合、約250世帯の住民が



1本だけの進入路（緑苑坂）

「陸の孤島」になり、住民は大きな不安をかかえている。防災対策としても道路整備は急務の課題であると考えるが。

【答 弁（建設・環境課長）】

現在の進入路が不通となった場合の対応策は必要なたため、担当課と調整を図り検討していく。

【答 弁（町長）】

山手線の全線建設は、大きな目標で、道路ネット

ワークの整備は、引き続き進めるべき課題と考える。年々、交通量が増えている現状であり、渋滞対策として山手線の全線建設を早期に進めるという認識である。府や国への要望など、

いくつもの事業手法を考えながら全線開通を急ぐ。緑苑坂の安心・安全面から、府道への新たな整備区間の着手に全力をあげて取り組んでいく。



安本 修
議員

危険箇所の周知徹底は

【答】防災マップを全戸に配布した



危険箇所の周知徹底を

布するだけでなく、防災の基本がうたわれていることから「防災マップ」そのものの説明をきちんとしていく必要があるのではないかと。

【答 弁（総務課長）】

この間、防災の日の展示やホームページでも安心・安全の内容で住民が情報を入手できるようにしている。また、まちづくり出前講座のメニューにも設けて説明できるようにしている。さらに各地域の自主防炎組織での活用もはかっている。

【質 問】

京都府が調査した危険区域・箇所以外に開発された区域・箇所が危険なものになっていないのか。調査されているのか。

【答 弁（総務課長）】

京都府で土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれのある区域を土砂災害警

戒として順次指定を進めている。防災マップを作成した後に調査した地域について

では、地区での説明会を開催している。

非常持ち出し品のチェックを

【質 問】

会が必要ではないか。

防災マップにもあるよう

【答 弁（総務課長）】

に非常持ち出し品を日頃から備えておくことは大切である。住民それぞれが災害に対する備えとして非常持ち出し品をチェックする機会

非常持ち出し品のチェックリストは、防災マップに掲載しているので、常日頃から個人の責任でチェックしていただきたい。

【質 問】
災害から住民の安全を確保するために何をすればいいのか。日常的に災害に備えるためにも、まず危険箇所をきちんと住民に知らせることが大切だと考え

【答 弁（総務課長）】

防災が必要となる箇所や危険箇所の徹底をはかるために防災マップを全戸に配

布した。町の地図上に土砂災害危険箇所や京都府が順次指定を進めている土砂災害警戒区域などを表示するとともに、田原川浸水想定区域をあわせて表示し、詳しくわかるようにしている。また今年度は、想定される地震についてもハザードマップを作成する。

【質 問】

立派な防災マップを配



防災グッズ



七夕



消防団操法訓練



タベのつどい (保育所)

直撃インタビュー



町老人クラブ連合会長

くろかわ けんじ

黒川 健二 さん

今年の4月に、宇治田原町老人クラブ連合会
会長に就任された黒川健二さんにインタビュー
しました。

Q 会長に就任されての
抱負は。

A 会長という重責に戸
惑いもありましたが、
引き受けた以上、前向
きに物事を考え、自分
のできることを精一杯
尽くしていこうと思っ
ています。

Q 連合会としてはどん
な活動をしておられま
すか。

A 今年は「健康・友愛・
奉仕」をテーマに、高
齢者の健康ウォーキン
グ等に取り組み、明る
く楽しい老人クラブづ
くりを積極的に推進し
ていきたいと思ってい
ます。

Q 老人クラブに対する
思いは。

A 多年にわたり社会の
進展に寄与し、豊富な
知識と経験を有する者
として、社会活動に参

加していただくことを
願っています。

Q ご自身の信条は。

A 人に信頼される言動
と、慎み深い自分であ
りたいと思っています。

Q 俳句に取り組まれて
何年ですか。

A 18年くらい。俳句は
人生を豊かにし瞬時に
頭の遊びの世界に誘っ
てくれます。

Q 句集「田原の里」を
発刊されましたが。

A 宇治田原町は緑に包
まれ、自然の恵みがあ
る町で、俳句の季語に
は事欠きません。親し
みを持って「田原の里」
と名付けました。

後記

今年 は 天候 不順
が 続き 農作物 を は
じめ、 いろん な 所
で その 影響 が 表れ
て います。 これ も
地球 温暖化 の 影響
ではない でしょうか。

地球 全体 で 海 の 平均 水
温 が 93 年 から 08 年 の 16 年
間 で 0.1 度 上昇 し て い
ます。 大気 に 比べ 膨大 な
熱 を 蓄え る 海 の 温暖化 が
将来 の 気温 上昇 の 正確
な 予測 になると 言わ れ て
います。 海面 1 平方 メー
トル 当たり 約 0.64 ワツ
ト の 熱 が 加え ら れ た こ
と になり、 これ に 必要 な 熱
量 は 全 人類 67 億 人 それ ぞ
れ 100 ワツト の 電球
500 個 を 点 灯 し 続 け た
こと に 匹 敵 し ます。

今後、環境問題には真
正面から取り組む必要が
あります。

猛暑が続く毎日ですが
お身体ご自愛下さい。

広報編集委員長 垣内